

地域の催しや明るい話題などが
「こぞ」に載りましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



山初律子写真展「はじまりの島」12日まで

淡路人形浄瑠璃資料館



▲淡路・沼島の写真が並ぶ山初律子写真展

まりの島」は古事に登場する国生み神話においてははじまりの島として登場する淡路島・沼島の写真33点で構成されています。

同資料館の中西館長は「淡路の祭りや自然など地元の人に見なれた光景も優れた写真家により取り取られると新たな感動がある。是非見に来てほしい」と話してくれました。

◆山初律子写真展

「はじまりの島」

▽期間 5月13日(火)まで

◎淡路人形浄瑠璃資料館

☎43・5037

三原図書館2階の淡路人形浄瑠璃資料館で山初律子写真展「はじまりの島」が開催されています。

川西市出身の山初さん、カメラを持ったきっかけはカトレアの花の美しさに魅せられ、写真に残しておきたいと思ったからだそうです。2003年からは写真家の染谷學氏のもとで写真について勉強されました。その作品は専門誌でも紹介されています。

数年前から淡路島に魅せられ、淡路島に通うようになりました。今回の写真展「はじ



▲山初律子さん

春の全国交通安全運動前の4月4日、中山峠でドライバーに交通安全街頭呼びかけが行われました。これは南あわじ警察署や市交通安全協会などで行われる交通安全対策協議会が毎年実施しています。

同協議会のメンバーら約70人が参加して交通安全祈願祭が行われた後、国道に並んだ参加者らは「6日から交通安全運動が始まります。安全運

交通事故防止、街頭呼びかけ

南あわじ市交通安全対策協議会

転に心がけてください」と声をかけながら、飲酒運転撲滅と書かれたティッシュと標語が書かれた手作りの鈴をドライバー一人ひとりに手渡しました。

南あわじ交通安全協会の中田明樹会長は「今回の運動が1件でも交通事故減少につながればと思う。また運動期間中だけでなく1年を通して啓発に努めたい」と話してくれました。



▲交通安全を呼びかける交通安全対策協議会メンバー

関西まちづくり賞を受賞

福良港津波防災ステーションを拠点とした津波防災のまちづくり



▲市役所で原 孝会長(右)が受賞を報告(4月11日)

「福良町づくり推進協議会」が受賞

くりへの取り組みが評価され、福良町づくり推進協議会が、関西まちづくり賞を受賞しました。この賞では日本都市計画学会関西支部が、毎年先進となる活動や特色ある画期的なまちづくりを表彰しています。

同協議会は、防災と観光を組み合わせた活動や大学との連携による地域活性化に取り組んでいます。夜間避難訓練など、住民と各種団体が一体となった訓練や、全国から視察を受け入れて防災活動を紹介する

魅力発信にも努めています。

毎年秋の「うずまるフェスタ」や防災フォーラムでは観光客からも楽しみながら津波防災について考えてもらう機会となつて、路地裏探訪では、まち歩きで福良の魅力に触れながら避難路の確認などが進められています。同協議会の原 孝会長は「想定外という言葉は使わない!をスローガンに、これからも津波防災日本一のまちをめざして継続した活動に取り組んでいきたい」と話しました。

淡路人形座50周年で三番叟奉納

発足50周年を迎える淡路人形座が4月8日、淡路人形浄瑠璃発祥の地である三條八幡神社で三番叟を奉納しました。

約500年前に西宮の人形遣い百太夫が市三條に伝えたのが始まりとされ、約400年前に現在の淡路人形浄瑠璃の形が作られました。最盛期の江戸時代には40以上の座が興行していましたが、戦後に衰退してしまいました。昭和39年に伝統芸能を守ろうと地元有志や

現役座員、OBらにより淡路人形座が開設されました。

この日は、座員や関係者ら約30人が出席。同神社の境内に敷いたむしろの上で三番叟が奉納されました。

淡路人形協会の正井良徳理事長は「50周年を迎えられたのは支えてくれた皆さんのおかげ。この発祥の地で三番叟を奉納し、これからの淡路人形座の発展を祈願した」と話してくれました。



▲三番叟を奉納する淡路人形座員

淡路人形座

児童館で楽しい「ラボ・イベント」

「ふるさとひょうご創生塾」との「ラボ・イベント」



▲玉ねぎ染めの作品を手に喜ぶ児童たち

児童館で3月26日、生涯学習として県が主催する「ふるさとひょうご創生塾」に学ぶ人たちと児童たちが交流するイベントが行われました。

春休みで集まった市内小学校1年〜5年生の児童26人と創生塾で、子育てしやすい地域づくりについて学ぶ神戸や明石などから参加した5人の塾生らが楽しく交流しました。

玉ねぎ染めや工作、生演奏で

の合唱などで触れ合いながら、阪神淡路大震災の体験談を伝える教室も開かれ、防災について考える機会となりました。

児童たちは「玉ねぎ染めが綺麗にできて良かった」「いろんな歌をみんなで歌って気持ち良かった」と笑顔でした。

また、震災体験談を伝える教室では、今ここで地震が起こったらどうすれば良いかなどが話し合われ、海と反対の山側へ逃げることや自分の命は自分で守ることの大切さが児童たちに語られました。

おめでとう

全国大会 出場

◆ボート競技

山崎 鈴子さん(柳学園高)



▲山崎 鈴子さん

山崎さん(阿那賀)は、第25回全国高等学校選抜ボート大会(3月21日〜23日・静岡県)に出場。ボートを1人

で漕ぐ女子シングルスカル種目において、県予選大会と近畿地区大会で、それぞれみごと優勝を果たして全国大会出場への切符を手に入れました。全国大会では、惜しくも予選で敗退しましたが、3月28日に市役所で開かれた報告会で、山崎さんは「くやしさをバネにこれからの練習に取り組んでいきたい」と話しました。

◆水泳競技

増田 達哉さん(三原中)



▲増田 達哉さん

増田さん(八木)は、第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会(3月27日〜

30日・東京都)に出場。11・12歳以下男子200メートル自由型で、今年2月に行われた県大会において2分6秒21の自己ベストを記録して全国大会出場への切符を手に入れました。NSI南あわじスイミングスクールに所属して毎日練習を欠かさない増田さんは「東京オリンピックを目標にして頑張りたい」と話しました。